

児童発達支援事業所における自己評価(公表)

公表:令和8年2月16日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	1	利用定員と個人プログラムを行うスペースとの関係が適切であるか	4			活動するには十分なスペースが確保してある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	1		3	人員の補充がなく、一人ひとりの業務負担がおおきくなっている。	増員のため職員の募集は行なっている。 職員を増やす。
	3	活動空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			子ども一人ひとりに合った環境調整を行なっている。	
	4	活動空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	4			手が触れる場所は除菌を行なったり、空気清浄機、加湿器なども使用して、清潔で心地よく過ごせるように努めている。	部屋や教材の使用後には必ず清掃や消毒を行ない、安全で快適に過ごせる環境を提供していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		目標振り返りシートを用いて、年度始めに目標設定を行ない、年度末に振り返りを行ないながら、個々の成長につながるように努めている。	
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者にもアンケートを実施し、ホームページにて内容を公開している。 年に一度評価をしてもらい、事業の改善に努めている。	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			自己評価はホームページにて公開し、誰でも見ることができるようになっている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2		第三者による外部評価の実施を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			研修に参加できなかった職員へは伝達研修を行ない、職員全体の資質向上に努めている。 必要な研修や受講したい研修には参加できるように、その日の業務の調整を行なっている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
適切な 支援の 提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	プログラムは、担当が個人で立案しているが、振り返りの中で、助言をもらったことを取り入れている。 個別プログラムのため、立案をチームで行っていないが、サポート等が必要な子どもに対しては事前の打ち合わせをしている。	
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4			それぞれの子どもに合わせた環境調整や課題設定を行ない、状況によってステップアップしている。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		必ずではないが、見守りやフォローが必要な児には、打ち合わせをより丁寧に行っている。 支援終了後に必ず…ということとはしていないが、気付いたことや感じたことは伝え合えるようにしている。	職員一人でケースを抱えこまないように、日々の情報共有や定期的な話し合いができるようにしていく。
	17	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		毎回ではないが、様子や気になる点について、伝え合うようにしている。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			気付いた事、保護者からの話なども記録に残し、今後の支援に取り入れている。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			一人の子どもに対して、半年ごとにモニタリングを行ない、支援の見直しを行なっている。	
	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	4				
関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			日頃関わっているスタッフ、または児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか	4			必要に応じて、子育て支援機関と情報共有をしている。	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		直接関わることはなかったが、いつでも連携できるように準備している。 派遣型の利用児において、医療や保育園等と連携した支援を行なっている。	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2		直接関わることはなかったが、いつでも連携できるように準備している。 派遣型の利用児において、主治医と連携体制を整えている。	
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定子ども園との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		ニーズがあれば、保育所等を訪問し、情報共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			小学校や特別支援学校へ訪問し、あゆこの様子を伝える引き継ぎを行なっている。	
	27	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	他事業所への見学、勉強会への参加をしている。 発達障害者支援センター主催の研修を受けている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
関係機 関や保 護者 との 連 携	28	地域自立支援協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2		2	市が行なっている事業へ参 加している。	必要に応じて参加していく。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っているか	4				
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)の支援を行って いるか	2	1	1	来年度実施に向けて、職員 で研修・勉強をしている。今 年度は、情報交換や悩み相 談、つながりが持てる場と して茶話会を行なった。 来年度、実施できるように勉 強会等を職員間で行なっ ている。 7月に職員がペアトレの研修 を受講している。	来年度の実施に向け、伝達 研修や実践研修を継続して 行なう。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	4			重要事項説明書の中で1つ 1つ丁寧な説明に努めてい る。	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」のねらい及び支 援内容と、これに基づき作成された「児 童発達支援計画」を示しながら支援内 容の説明を行い、保護者から児童発達 支援計画の同意を得ているか	4				
	33	定期的に保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助 言と支援を行っているか	4			相談があった場合はその都 度対応をしている。	
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れ について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、相談や 申し入れがあった場合に迅速かつ適切 に対応しているか	4				
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信しているか	2	1	1	事業所で会報は作っていない が、センターの広報誌や SNSで発信している。 LINEを使用して、活動の様 子などを伝えている。	今後もセンターのSNSやあ ゆっこのLINEを通して、活 動の様子などを発信していく。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4				待合で保護者と話す時は、 声の大きさや個人名を出 さないことなどに配慮し、 個人情報漏れしないように する。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をして いるか	4				
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている か	1	2	1	センターの行事としてフェ スタや学園祭を行なっ ている。	今現在は感染対策のため、 ご家族以外の立ち入りを 制限している。
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニ ュアルを策定し、職員や保 護者に周知するとともに、 発生を想定した訓練を実施 しているか	1	3		いつでも確認できるように、 療育室前に掲示している。	センターが策定しているマ ニュアルに基づいて対応 している。
	40	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要 な訓練を行っているか	3	1		センター内で毎月1回行 なっている。	定期的に非常時の訓練を 行っており、状況によ って参加している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
非常時 等の 対応	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4			利用開始前のアセスメントで子どもの健康状況等についても確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1	定期的にヒヤリハットの事例を回覧し、一人ひとりが内容を把握するよう努めている。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			定期的にセンターで実施している虐待研修を受けている。	